

麻生多摩美の森だより

第1号 2003年6月30日発行

発行；麻生多摩美の森の会

発行責任者；勝田 政吾

編集者；木村 信夫

発刊によせて

会長 勝田 政吾

多摩美の森の会の活動も発足してから3年目になりました。この間植樹、畑作業、草刈り更には設備作りなどの活動を進めて来ましたが、本年度からは正式に作業日を月2回とし、季節に沿ってよりきめ細かい活動を目指す事としました。

会員は発足以来70人余りですが、活動日に参加されるのは毎回大体20人前後で、活動面積が比較的小さい（それが我々の会の短所であると同時に特長でもあるのですが）事からすると、この位の参加人員でちょうど良いのかなという感じも致します。ただ、ここで問題なのは、都合で活動に参加できない会員には年一回の総会の他には活動状況が行きわたらない現状となっている事です。これについて幹事会で話し合った結果、新たに広報分科会を設けて会報を定期的に出すこととしこの度、発刊の運びとなりました。

広報の重要性はここで申すまでもありませんが、どんな活動でも情報伝達が不十分だと結局はうまく行かなくなってしまいますし、特にこの会のように会員の意志だけで進めている団体では尚更のことだと思います。これまでは会員の方々に意見を述べていただく場がなく、（屋外での活動の前後ではなかなか討論というムードにはなり難いものです）、会員の意識が幹事にお任せという方に傾いているのではないかとヤキモキしておりました。

今後は是非この会報の場を利用して下さり、何かにつけてご意見をいただきたいものと思います。これによって他の分科会活動の活発化も期待され、ひいては全体活動の活発化に役立って行くものと思っております。会を楽しく運営して行くために、是非共十分な活用をお願い申し上げて発刊のご挨拶と致します。



第1号の特集について

この4月、環境局・市民健康の森担当は、前任の萩原哲主幹が南部公園事務所長に、大谷雄二さんが緑政部緑政課企画班に副主幹として移動になりました。そして、後任に村上豊比古主幹と江田敦主査が就かれました。森づくり構想の検討委員会・推進委員会時代からお世話になった萩原さん、大谷さんご両人に、今回麻生多摩美の森への思いを語っていただきました。次号で村上・江田両氏から抱負をお寄せいただくことにしています。

人と人との繋がり大切さ

前・市民健康の森担当主幹 萩原 哲

あっという間の4年間でした。「多摩美ふれあいの森」の設計をしてから、かれこれ10年経ったでしょうか、平成11年5月6日に市民健康の森担当の辞令をもらい、事務引継ぎもままならないまま9日に「麻生区市民健康の森」予定地の植生観察会に参加したのがこのスタートでした。

それ以前、今は住宅になっている斜面地から、東方に見える女子大の山の景観が好きで、母を連れてお花見をした思い出もあります。また、多摩緑地保全地区を都市計画決定するため植生調査をしたとき、開発を中止させて買収した市有地にトウカエデが植えられており、周辺植生を無視した無神経さに怒りを覚えた思い出もあります。そして、エビネやイカリソウを密かに植たりした、私にとって深い思いがある場所です。

当初の関心は景観や植生などの地物でした。しかし、今はそうしたのではなく、会の皆さんとの出会いとか協働作業で生まれた人と人との繋がりという無形のものが大切に思われるようになりました。

これまでは造園職で技術を発揮しその成果で喜びを得ていましたが、この事業に携わり市民の皆さんの輝く瞳を見てみて地方自治体の職員として喜びや満足を得る事ができました。何か一皮剥けた自分になれたのかなと思っており、そうした自分を育てていただいた皆様方に感謝いたします。

仕事の面白さに気づくのが遅かったのか、最近日は追うごとにやりたいことがどんどん増えて、気ばかりあせていますが、今は、相田みつをのこんな言葉を胸に仕事に励んでいます。

「まず具体的に動こう、具体的に動けば、具体的な答えがでてくる」

楽しい活動を末永く

前・市民健康の森担当 大谷 雄二

平成12年5月、市民健康の森事業との関わりが始まりました。以来、約3年、市民の皆さんと共に、健康の森を育ててきたことは、自分にとって大変自信となりました。私は、推進委員会時代から参加させていただきましたが、委員会を進めている中で、実際に竹藪の伐採を行ったことなどは、良き思い出となっております。今回は異動で、健康の森事業を離れることになりました。そこで、これからの活動にあたって感じることをしたためさせていただきます。

活動は、本来楽しいものでなければ、永續きしません。

学校との連携を大切にしてください。金程小学校の生徒さんが取り付けた巣箱に小鳥が営巣していると嬉しいですね。また、学校に出向いてのムギの学習も良かったと思います。学校との連携方を更に考えて、環境学習のフィールドとして健康の森が活用されれば、皆さんの活動の励みにもなるのではないのでしょうか。

夏は、草との闘いだったことを思い出します。草刈りだけだと飽きちゃいますよね。時間を区切って、野鳥観察や草花観察などを取り入れたらいかでしょうか。また、植樹祭で植えた樹木の観察記録(幹周りや樹高を計る)をとっておくと役に立つかもしれません。

最後に、やはり大切なことは、活動が終わった後、「やったね！きれいになったね！」とみんなが満足感を持てることだと思います。参加人数に見合った活動を無理せず行うことが、永續きさせる秘訣かもしれません。仕事は離れましたが、遊びにまいります。その時は、よろしく願います。

多摩美の森で麦の学習(金程小学校)

長澤 宗幸

昨年は、金程小学校からの依頼で、5・6年生を対象に「総合的な学習」の授業の一貫として勉強会を2回実施しました(写真は今年の授業風景)。



本年度も同様の依頼があり、5年生を対象に野外授業を1回(6月下旬)、屋内授業を1回(10月)と、計2回を計画しています。

1. 野外授業

各種麦の実物を見て、歴史、用途、特徴など野外でできる勉強をします(できれば麦わら細工も考えたい)。

2. 室内授業

麦茶作り、むぎこがし試食、石うす使用による加工品作り。

昨年の12月に種を播いた麦は、生育も良く6月初旬に刈入れとなりました。昨年は、作付け面積が少なく収穫物を利用した各種のイベントが十分にできなかった事を反省し、本年度は作付け面積を2倍、さらに小麦と大麦の2種類を栽培しました。

楽しくて、思い出に残る勉強会を計画しています。お手伝いできる方は是非お願い致します。特に「むぎわら細工の得意な方」ご一報お待ちしております。これから、人手が沢山必要となります。会員各位のご協力をお願い致します。

森の生きものノート ついにクルミが初成り

木村 信夫

休憩ゾーン近くのクルミが、アーモンド形の実をつけ、だんだん重く垂れてきた。植樹は98年3月、その年の秋には市民健康の森構想検討委員会スタートしているから、森の歴史とともに成長していくクルミだ。昨年の植樹祭ではクリ・ガマズミ・シロイチジク・ヤマモモを植えているので、木々の実りで賑やかな森をめざして手入れしていきたい。

皆さんの森の動植物観察記をお寄せください。



初夏の多摩美の森/作業のあとの憩い

広場の中央に立派な木のテーブルとベンチがあります。ただ座って風を感じているのも楽しい。



今夏の活動結果と予定

副会長 平林 謙三

6/21～9/21 は作業時間を1時間早め9時開始とします。10月からは10時開始に戻します。

毎回最初の30分は域内の清掃を行います。

6月7日(土) 大麦の刈取りとハサ掛け乾燥、草刈りと苗木の手入れ。

6月14日(土) 小麦の刈取りとハサ掛け乾燥、傾斜地に常緑樹苗7本を植樹。

6月21日(土) 大麦の脱穀。

6月22日(日) 小麦脱穀、里芋畑などの除草。

6月23日(月) 金程小学校5年生が周辺の観察と小麦の勉強。

7月5日(土) そばの播種 草刈り、苗木・畑の手入れなど

7月20日(日)

8月3日(日)

8月16日(土)

9月6日(土)

9月21日(日)

草刈りと苗木・畑の手入れなど

北沢 清先生と一緒に“樹木ウォッチング”

10月以降、いも掘り、植樹祭・収穫祭などを計画・実施します。

さつまいもの植付け

畑管理分科会 長澤 宗幸、中谷 一郎

気温も上がり作物にとっては絶好の季節となってきました。収穫祭において大好評だった焼きいも、今年もそれ用のサツマイモ栽培の季節となりました。

去る5月3日会員により麦畑の東側に約200㎡を開墾し、新しいさつまいも畑を作り上げました。そして、5月25日中谷幹事を中心に子供たちを交えて、さつまいもの苗の植付けを行いました。品種と数量は、きんとき100本、べにあずま200本の合計300本という大量の植付けとなりました。

苗を植付けした時期は、天気が良く気温も上昇していた時期なので、苗の根づきが心配です。根付きが悪く、不足なところは苗を補充していくことにしています。これからは、草取り、つる起こしなど畑を管理して、陽をいっぱい受けすくすくといもが育ってくれることを期待しています。

昨年と同じように、秋の収穫祭のときには、おいしい焼きいもが食べられるといいですね。それを楽しみに、暑い盛りの草取りに励みましょう。



広報編集室からのお知らせ

- とりあえず発行開始し、皆様のご意見や希望をお聞きしながら、よりよい形にしていきたいと思っております。年4回(6・9・12・3月)発行の予定です。皆様からの投稿をお待ちしています。

● 連絡・投稿先

木村 信夫 044-954-7855

fwhp6921@mb.infoweb.ne.jp

森 正昭 044-951-1089

BYA15610@nifty.ne.jp